

「京都マネージメント研究会」のご紹介



京都マネージメント研究会は、中小企業同士が学びと実践を通じて5S活動を推進し、自社の成長につなげる活動を継続しています。会長を務める洲崎鑄工株式会社代表取締役社長の洲崎 章弘氏に、これまでの取り組みやその効果について伺いました。

5S活動を学び合い、事業革新・生産革新につなげる

京都マネージメント研究会

<http://kyoto-mgt.com/>



会員各社の事業・生産現場を見学し

5S活動を学び合い、自社の改善につなげる



京都マネージメント研究会会長
洲崎鑄工株式会社
代表取締役社長 洲崎 章弘氏

当会は、同じ問題意識を持つ中小企業が集まり、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を通じて「事業革新」と「生産革新」を実現し、会社をよりよくしていくことを目的に掲げ、活動しています。

主な活動の一つが、「5S-5T研究会」です。持ち回りで会員企業1社を各会員企業社員とコンサルタントが

訪問。事務所や生産現場を見学し、5Sの実施状況や改善点を見出すとともに、その結果を会員企業ごとに「だれいつ新聞」と名付けた改善表に記述し、全員で共有します。外部の多様な視点で現場を見ることで、自社では気づかなかった課題や改善点が明らかになり、5Sのレベルアップにつなげられることがメリットの一つです。また訪問する側にとっても、他社の優れた取り組みを見て学ぶ良い機会になっています。

もう一つの活動が「トップ交流会」です。会員企業のトップが一堂に会し、情報交換を行う他、先進的な取組を行う企業を見学するなど新たな知見を得る機会もつくっています。

コロナ禍で停止していた活動を再開

業種を問わず多様な中小企業の参加を歓迎

発足から30余年、会員各社の継続的な努力により、それぞれ

の5S活動は著しく向上しています。5S活動に「理にかなった管理や生産の仕組み」を構築することで、品質や生産性の向上が実現しています。何より企業にとって「良い現場は最高のセールスマン」です。清掃が行き届き、無駄のない生産現場をお客様に見ていただくことで安心や信頼を獲得し、新たな受注が生まれるなど、当会の活動が会員各社の事業にもメリットをもたらしています。

今後は5S活動に留まらず、ITやIoTなど新たなテクノロジーについても学び合いたいと考えています。研究会だけでは知り得ない企業や事例の紹介など、京都産業21の情報提供や支援も大きな力になっています。

コロナ禍で約2年にわたって会員企業訪問などを控えていましたが、2023(令和5)年初夏より活動を再開しました。今後も業界・業種を問わず、さまざまな中小企業の方々の参加を歓迎します。



ラベルを付け、決まった場所に置かれた工具



会員企業を訪問し、「5S-5T研究会」を実施

Data

- 発 足/1989(平成元)年11月
- 会 員/生田産機工業株式会社、洲崎鑄工株式会社、株式会社タナカテック、株式会社長濱製作所、株式会社日豊製作所、株式会社ビー・ドリーム、株式会社ヤスダモデル、株式会社辻製作所、医療法人顕樹会本田歯科クリニック、株式会社ティ・プラス